

スーパーコンピューターシステムの教育利用について

共同利用係
システム運用係

「計算科学」は「理論」,「実験」に続く「第三の科学」として確立されつつあります。「次世代スーパーコンピューター」,「T2K オープンスパコン」などの開発・稼動を背景に大規模計算とそれを駆使した新しい発見への期待は様々な分野で高まっており,特に昨今は次世代を担う人材育成の重要性についても盛んに議論されています。本学でも「学際計算科学・工学 人材育成プログラム」に見られるように,学部・大学院レベルの講義・演習でスーパーコンピューターを導入した試みが開始されています。本センターでは,このような動きに先駆けて,平成 13 (2001) 年度より,スーパーコンピューター資源を構造解析・流体力学・地球科学等の分野における学部・大学院の講義・演習に試行的に提供し,大きな成果をあげてまいりました。平成 21 年度も以下の要領で教育利用の募集を行います。

主な提供資源および申請内容

- ・ 15 名程度の小規模授業を対象としています。
- ・ 利用期間は,授業開始から学期末まで利用可能です。
- ・ 授業の内容がわかる資料(シラバス・カリキュラム等)の写しを添付してください。
- ・ 授業終了後には,報告書の提出をお願いします。
- ・ 以下のシステムが利用可能です。(SR11000 の教育利用は,2008 年度をもちまして終了させていただきました。)

HA8000 クラスタシステム

専用キュー (最大 15 分)

4 ノード(64 コア)利用可能

注意事項

- ・ 申し込みが多数の場合は,システム全体の利用状況を考慮し,利用の制限または利用をお断りする場合があります。
- ・ 指導教員は,システムの利用について責任を持ってご指導ください。学生からセンターに対する質問はご遠慮ください。
- ・ 外国人の利用申込にあたっては,輸出貿易関連法規に違反しないことを確認してください。

なお,本件の詳細については,本センター共同利用係までお問い合わせください。また,利用申込書は,下記ウェブページからダウンロードしてご利用ください。

お問合せ先

共同利用係 03-5841-2717 (ダイヤルイン)

22717 (東京大学内 内線)

Web ページ http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/use_info/education.html